

# ビックリ仰天！ 奇蹟的効力！ ノーベル賞的価値の技術と商品！ 「エフ・ユー・エフ活性化セミナー」見学コース この目で見た驚異の見聞記

株式会社ロジタント 代表取締役 吉田祐起 記  
(総合物流・経営コンサルタント/健康・生きがいづくりアドバイザー)  
Web Site: <http://www.c-logitant.com>

平成16年2月23日、私の友人である広瀬安秀氏(森ビルグループ/MTファシリティ株式会社取締役・東京港区 <http://www.mt-fs.co.jp/>)と、同氏の会社取引関係にある大滝浩右氏(株式会社メンテックカンザイ代表取締役社長・本社静岡市 <http://www.mentec-k.co.jp/>)のお二人に誘われ、都内で長時間にわたり両氏の体験談を聴く機会がありました。

両氏とも標題の「活性化セミナー」に参加され、爾来、その恩恵に浴していることの一部始終を耳にした私は、両氏が語られたそれらの現象や効力等が、そのまま真実であるならば、「ノーベル賞ものだ！」と思わず呟いたものでした。

同両氏の進言を受け、私は去る今年3月4日(10:00~18:40)の長時間にわたる同セミナー(新潟市及び近郊)に参加しました。当日のセミナー資料はA4版・105枚に及ぶものですが、セミナー会場に向かう途中、本技術商品を本格的に導入して著しい成果を挙げている、下記企業現場を実地見聞しましたので、見たまま、聴いたまま、感じたまま、体感したまま等々を、率直に記してご参考に供します。

なお、専用バス車内では主催者であり、活性化技術・商品の発明者である「株式会社エフ・ユー・エフ代表取締役・深澤達夫先生 <http://www.fuf.jp>」が自らマイクを持たれて、自信に満ちた、力強く格調高い口調の説明(レクチャー)を受けながら各所を移動して見学しました。

記

## 1. 鮮魚加工工場「見田元七商店」見学 10:30~10:50

活性化施工年度：平成2年から平成5年の間、随時取り付け。

鮮魚工場内に一歩足を踏み入れた途端に感じたことは、「鮮魚特有のニオイ」が全く感じられなかったことです。テーブルに並んだ鮮魚に鼻を付けるほど接近して深呼吸するようにニオイを嗅いだら、ほんのりと魚のニオイがするかな...、といった感じでした。

聴けば、同工場のコンクリートフロア、壁面、天井などのすべての箇所に活性化セラミカをブレンドしたもので内装されているとかです。その上、壁面には多くの「活性化プレート(商品名：ブラックウエーブプレート)」が見られました。

鮮魚工場に不可欠の大量の水洗作業がありますが、その水道水のホース自体も活性化セラミカ含有の特製ホースです。従って、水洗用の水そのものが活性化されているために、コンクリートフロアに見られがちな「ヌルヌル」した状態が全く皆無であるどころか、何となくフロアがカラッと乾燥しているみたいでした。

工場内使用水は全て活性化されているため、水洗液が工場内の溝を通過してピットに入り、そのピットにも活性化装備されているために、全く異臭や汚れがなく、住宅地でありながら、そのまま通常の下水路に流しているのです。近所の苦情は皆無とかです。

冷凍冷蔵庫に実際に入ってみました。湿気を全く感じません。しばらくして庫外(工場内)に出ました。不思議なことに、メガネの曇りが無いのです！ 冷房車から外に出た瞬間にメガネが真っ白に曇ることからすると、そのこと自体が驚異でした。

鮮魚の「鮮度」や「味」については、その場で試食することは出来ませんでした。次のコメントで驚愕しました。「スーパーで購入した刺身は、セラミカ活性剤を内蔵している家庭用冷蔵庫に二、三日『熟成』してから食べるのですよ」とは、主催者側の方の弁でした。

ここでも思わず「ウッソ~！」と言いたくなるほどでした。事実、同工場の従業員さん方が自分たちの食品をその中に保管しておられるのを目の当たりにしました。

## 2. 活性農園「山我農園」見学 11:10~11:30

活性化施工年度：平成4年4月

農業技術関連で、専門的なことは余り分らない私ですが、「一番保管に難しい『球根』への効果」

を見聞しました。JA関係者数名の参加者がいましたが、異口同音にこの問題に悩んでおられる立場で、驚愕しておられました。

冷蔵冷凍庫から保管商品（球根や切り花など）を出す瞬間に発生する「結露」などによる商品ロスの発生が全く無いそうです。

従業員の方々にとっても職場環境に不快感が無く、快適であることから、定着率も抜群になっている、とからです。

ここでも従業員諸氏が私物の食品（インスタント・ラーメンも）が美味しくなるので、といって庫内に置いて（熟成して）おられました。

### **3．活性化カレーショップ「エル」見学及び食事 12:20～12:50** **活性化施工年度：平成8年6月**

店内、加工工場、倉庫すべてが活性化されているレストランで食事をしました。カレー特有のドギツイ匂いは皆無でした。骨付きビーフの「骨離れの良さ」に鮮度の良さを感じました。野菜に至るまで「食品原料熟成促進」の実態を体感しました。

食事の傍ら、少人数に分かれて隣接する同経営のパチンコ店を見学したのですが、これまた大きな感動でした。

### **4．活性化パチンコ店「ニューラッキー」見学 12:50～13:00** **活性化施工年度：平成8年6月**

カレーショップ「エル」の隣に位置する同一経営によるパチンコ店では仰天しました。店内内装はコンクリートフロアから天井、壁面など全てが活性化で新装されたものです。

店内に入った瞬間にまず感じたことは、店内の空気が「澄み切っている！」ということでした。パチンコ店特有の（タバコの煙による）空気の汚れや、天井の汚れを全く感じませんでした。意地悪く、タバコを吸いながらパチンコしている人のタバコの煙を見据えてみました。その人の頭の上くらいまでは確かに煙が見えましたが、どうでしょう、それから上には影も形も見えなくなっているのです！

店内空気が澄んでいる様子を真っ先に感じたのは、店内のず～と奥まで綺麗に見通せることでした。さらに、パチンコ台の赤とブルーの原色が実に鮮やかに見えました。

朦々とタバコの煙で汚染されている店内環境が普通ですが、何だか高原の自然環境に浸る感じでした。聴けば、この店には女性のお客がこのほかに多いそうです。タバコ弊害から開放されているからだとかです。まったく！と感じました。

### **5．活性化精肉、惣菜店「なか心」見学 13:50～14:05** **活性化施工年度：平成8年9月**

もっとも驚愕した現場です。売店ショーケース、バックヤード加工場、冷蔵冷凍庫等、全てが活性化された店です。肉屋さん特有のニオイはここでも皆無といった感じでした。

冷蔵冷凍室に霜が全く見られなかったのには驚きました。フロアもカラッとした感触で、肉類加工工場とは到底思えませんでした。

活性化環境のために肉の食味が向上し、今では高級料理店やホテルからの注文が相次ぐ状態とかで、競争力においては他の追従をゼツタイに許さない！と強気そのものです。

一番のオドロキは、油揚げの現場でした。食油鍋の中に活性化セラミック商品が仕組んであるのです。そのために、油煙が出ないのです！

レンジの上にある大きなステンレス製の換気用設備（フード）があります。普通なら、その内側は油で真っ黒、ベタリというのが常識ですが、何と、新品ステンレスの輝きがそのままなのです！これには驚きました。

その現場で担当者から聞いたことですが、ある生活協同組合（名称は忘れましたが）の食品加工工場が年間使用する食用油代が1億円のところ、この活性化装置を導入（設備資金：1千5百万円）して、何と、年間僅か6千万円になったとか。設備投資を差し引いて初年度だけで2千5百万円の

利益。活性化装置が事実上半永久的であることから、2年度目からは正味4千万円の仕入れコスト削減になっていることを知らされました。

さらに驚いたことは、その店を出て外から見た光景です。くだんのレンジからの「換気扇」が正面玄関の真上の壁にありました。普通なら、真っ黒になっているはずの換気扇が新品同様に綺麗なのです。さらに、その建物の壁面は建築当時のままの清潔な色（クリーム色だったと思います）を保っているのです。大気汚染だけでも劣化して汚れるのが通常のビル壁面ですが、新品同様の美しさを保っているのには驚きでした。

## 6. 活性化ホテル「ほてる大橋」見学 15:00～18:00 活性化施工年度：平成6年4月

以上、5箇所の見学を終えて「活性化セミナー講演」の会場である「ほてる大橋」に入りました。同ホテルが活性化を導入した動機を知らされました。庭にある大きな池からホテル館内に池の水を鯉とともに入れる構造にしていることで、池水特有のニオイが館内に及ぶことから、何とかせねば、というのが動機だったそうです。

その大きな池の活性化によりその悩みから完全に開放されている様を目の当たりにしました。泳いでいる多くの鯉も色鮮やかで、元気そうでした。

同ホテルの大きな「厨房」をつぶさに見学した中で、大きな驚きは冷蔵冷凍庫でのことでした。その前に見学した全ての箇所でも体感したのですが、同ホテルのそれでは「温度計」で庫内の温度の変化を確かめました。

専用バス内で、この活性化セラミカは、植物や人間など生命体のみに限らず、コンクリートや金属など非生命体にまで良い結果を与え、さらに、節電や燃料節減などにもその効力が及ぶということをお教えはいたのですが、正直言って半信半疑でした。それがものの見事に証明されました。

同ホテル厨房にある大きな冷蔵冷凍室に入って、フロア面や排気口や吸気口など数箇所の温度を確かめました。その後、一旦、庫外に出て、庫外にある「吸入口」に活性化セラミカ材料を約20分間設置しました。庫内に再度入って、同じ箇所の温度を測定したら、何と、それぞれ3度前後の温度が下がっているではありませんか！

この事実は、常時、その装置を吸入口に設置しておれば、その温度差相当分の電力が節減できる、ということです。見学者のために、あえて折角のムダを放置して、この信じれないほどの効力の事実を証明されるのかな、と感じました。

ちなみに、厨房の大きなガスレンジが並んでいる中で、レンジに点火した状態の中、約1メートル長さの大きなガス管の末端で、「活性化セラミカ水溶液（商品名：干アミエキス液）」をスプレーで吹き付けました。その数秒後に、何と、炎が大きくなったのです。ガス管を通して?? が不思議です。まるで、放射能みたいな作用があるの!? といったのが感想です。

後述する最終のセミナー会場では、これに類するガスレンジのボンベに吹き付けた時も確認された事実です。

同ホテル内でのもう一つの驚きは、大きな浴場で確認されました。大浴場のお湯が活性化されていることから、3つのことが確認されました。一つは、浴槽内の壁面がヌルヌルでなく、さらっとしていること。二つは、天井に水滴がまったく見られないこと。三つは、温泉浴場特有の湯舟内にある木製壁面の「焦げ現象」が全く無く、白木の状態が保たれている、ということです。

## 7. 活性化セミナー「活性化」とは 15:00～18:00 講演及び活性化実験 講師：株式会社エフ・ユー・エフ 代表取締役 深澤達夫先生

前述の通り、当日のセミナー資料は100枚を突破する大量のものでした。ここでその内容を語ることは避けたほうが賢明です。なぜなら、余りにも不思議な現象であって、下手な理論を展開する能力が私に無いからです。

多くの実験があった中で、印象的なものだけに限って記してみます。

その一つは、前述した干アミエキス液の拭き付け実験です。食卓用コンロのボンベに吹きつけると、火焰がここでも大きくなりました。

小型変圧器を使って豆電球を燈す中、その変圧器に拭きつけたら、その途端、豆電球の光が大き

くなったのにも驚きました。

その二つは、醤油、キムチ、梅干、レモン等々、強烈な味や刺激のある食品の味見実験では、思わず唸りました。詳細は省きます。私個人の感想ですが、子供の頃（60年前）に味わった醤油の味を体感したのはその一つでした。

歯槽膿漏で手術不可避という患者さんが、鉄砲玉みたいな活性化セラミカ（商品名・ミニブラック）を常時口の中に入れていて、完全に治癒し、レントゲンでそれを確認した歯科医が「信じられない！」と絶句した、とかでした。

### （吉田の体験後日談）

冒頭に紹介したお二人の方と都内で長時間懇談した折、大滝社長さんが付けておられた活性化セラミカをブレンドした「ゴム紐状の腕輪」を私の腕にはめて下さいました。爾来、信じられないほどの快便と体調の良さです。30数年間継続している自己流の体操（現在では正味1時間半）だけのセイではないものを痛感します。効用は多々あるのですが、最後に一つだけご報告しておきましょう。

私は生後10ヶ月でポリオに罹患し、爾来、両足がマヒしています。満60歳にして身体障害者手帳の交付を受けて両足に「補装具（ギプス）」を付けました。

両足裏が樹脂製の足底に接するために、冬季は冷たくなって苦しみました。10年間続いたその悩みが、活性化セラミカの薄いパネル（商品名：NMバイタルネットソフト）によって、見事に解決したのです！感謝と感動と感激を一人でも多くの人たちに伝えたい一心でこのレポートを書きました。

グラス一杯の水の中に、くだんのミニブラックを入れると、数時間でグラス内側に無数の泡が付着します。活性化現象をこの目で実感する光景です。

その水を高価な健康食品に見立てて、心身共に満喫しています。歯槽膿漏に悩む実弟にそれをトライさせたところ、「...歯茎が締まって、グラグラしていた歯がかなり治ったようです。また固いものを食べた時の歯の痛みもかなり軽減されました。最初の1日はこんな固いものを口に含んでと、違和感がありましたが今では全くありません...」とメールを寄越してきました。

以上、感じたまま、観たまま、体感したままを正直に記述しました。この見聞記を読まれた方の中には、「ウッソー！吉田さんともあろう者が、暗示にかかったみたい！...」といった反応も覚悟の上で、この見聞記を公表することにしました。

しかし、その反面、このノーベル賞的大発明技術・商品（と、あえて称します）でありながら、多くの友人経営者に進言するのに、ある種の戸惑いを感じる事が否定できません。

それは、既存のノウハウや商品や技術を根底から覆しかねないほどの威力をこの活性化セラミカが有するからです。既存のものが陳腐化し、関係経営者にショックを与えかねない、と思うからです。

そうは言いながら、「劣化環境」の著しい地球と万物を思うとき、そこに生息する人類の真の幸福とは、「活性化環境」への回帰努力こそが、唯一の人類の希望であると考えます。

一人の体験者としての手記をしたため、少しでも多くの人目に触れて、その人たちの「自主的動機による選択肢」に委ねるべきではないかと思った次第です。

何らかのヒントや動機となれば幸甚この上もありません。

追って、直近の「活性化セミナーのご案内」を添付してご参考に供します。

当方に対するご質問やお問い合わせは、ご遠慮なく [yoshida@c-logitant.com](mailto:yoshida@c-logitant.com) へ。

以上